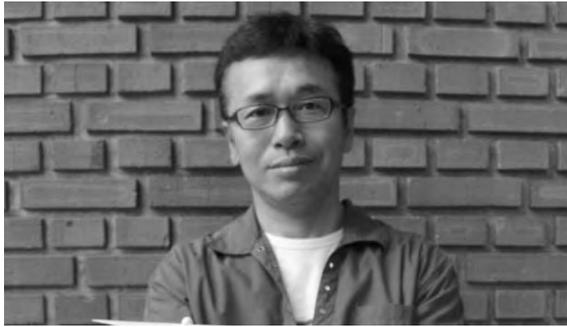


ながさきドローン塾





塾長 平塚健一郎

■ 塾長コメント ■

昨年 5 月。

平成 30 年度長崎伝習所の塾としてスタートしました。発足当初の塾生は 32 名。そのほとんどが未経験者でした。自分も塾長経験がなく、当初は右往左往するばかりでした。

まずは法令やマナーなどの座学から入り、実際に「飛行会」等を開催し毎月 1 回は月例会とイベントを実施するように活動していきました。塾生の皆さんのスキルも徐々に上がり、また自分自身塾生の皆さんに支えて頂き、塾として盛り上がりも見え楽しく塾活動ができたと感じています。

塾生も最終的に 42 名に増え、小学校低学年から 82 歳の人まで塾生として参加して頂いたことは非常に嬉しい限りです。

次年度も塾は継続審査を終えて継続することとなりました。

今年度は塾生のスキルアップや先進地への視察、またトイドローン(200g 以下のドローン)を使ってのイベントを行ってきましたが、次年度は長崎市のまちづくりにどう活用していくかを具体的に検討し実践していきたいと考えています。

■ 塾の目的 ■

・活用方法の研究

ドローンは急速に普及しており、またあらゆる可能性を秘めています。

技術力を向上させ長崎市においてどのような活用方法があるのかを皆さんで学び実践していくことを目的として行っています。

また、長崎市においてドローンの普及啓発を行うとともに、趣味で飛行している人たちに法令やマナーなどの講習を実施していきたいです。

■ 塾の研究・活動内容 ■

長崎市内にて、ドローンを安全に飛行できる場所の調査及び実施を行いました。

また、塾生の半数以上がドローン初心者だったため、法令やマナー等の勉強を、講習会や月例会等で行い、塾生の知識の習得と操作技能の向上性を図る活動を実施いたしました。ドローンの団体が長崎市に無いため、他の団体(佐賀県伊万里市)に塾として貸し切りバスをチャーターし、塾生とともに赴き視察を行い、長崎市においての活用について勉強させて頂きました。

トイドローンを用いてリモコンを操作する事により、高齢者や障害を持っている方の指の運動にも活用できます。そこで、長期で入院されているお子様等にドローンの楽しさを教え少しでも気持ちをリフレッシュして頂くという事を研究テーマとさせて頂いておりましたが、その一環として「トイドローンイベント」を 2 回企画し、旧長崎市立高城台小学校現川分校と長崎市民会館において実施いたしました。

■ 塾活動の成果 ■

・ 成果について

前述しましたが、発足当初塾生の半数以上の方がドローン初心者でした。

また、私自身も塾長初心者ということで、何から始めたらいいのか不安もありました。

塾の活動方針に合わない、すぐに塾を辞められた方も数人おられました。

その中で、まずはドローンを塾生の皆さんに知って頂くことからスタートしました。

塾生の皆さんのほとんどは、当初「まず、ドローンに触りたい」とのことでしたので、7月に他の塾との交流会を兼ねて、ドローン飛行会を長崎市高島町の高島総合運動公園にて実施いたしました。実施にあたっては、試験的な公園使用の許可ということで公園の管理者である長崎市土木部総務課の職員が同行のもとで行われました。

その後8月に「トイドローン体験会」を実施しました。これにつきましては、夏休みの期間中、小学生を対象に保護者同伴での実施となりました。塾の活動計画の中に「病院及び施設でのトイドローン体験会を実施する。」と提案させて頂いておりましたが、その一環としてこのイベントを実施いたしました。また、ドローンによる廃校（旧長崎市立高城台小学校現川分校）の活用について可能性が見出されたことは、大きな成果であったと思います。このイベントの成果を次年度継続する塾で、今度は施設内で実証していきたいと考えています。

また、9月には外部から講師を招いて2日間にわたり、座学と実技の本格的な講習会を開催しました。

この講習会には塾生以外の方も参加し、座学ではドローンの基礎的なところから、ドロ

ーンの様々な活用方法や法律を学び、実技では室内「伊王島体育館」を借りることができ、一歩前進できたと考えております。次年度については月に1回程度、体育館を借りて、技能向上に努めていきたいと考えています。

視察研修につきましては、ドローンによるまちづくりの先進地である佐賀県伊万里市に行き、廃校の有効活用及び商店街の活性化にドローンを活用している事例などのお話しをお聞きし、長崎市においても活用が可能か、次年度、教育委員会等にも出向いて話をしたいと考えています。

・ 今後の活動について

この一年間の活動を通して感じたことは、長崎市内でドローンを飛行させるにあたり、使用許可の申請など、非常に難しいと感じました。

ドローンはあらゆる可能性を秘めています。一方、危険性ももちろんあります。

次年度は、今年度の成果を元に、長崎市でのドローンの普及・活用に繋げていきたいと考えています。

ながさきドローン塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
平成 30 年		
5 月 23 日 (水)	長崎歴史文化博物館	長崎伝習所「塾」開所式、第 1 回 塾会議
6 月 17 日 (日)	長崎市民会館 2 階	6 月度月例会
7 月 13 日 (金)	長崎県出島交流会館	7 月度月例会
7 月 15 日 (日)	長崎市高島町	ドローン飛行会・ネットワーク型高島創造塾交流会
8 月 19 日 (日)	長崎県立図書館	8 月度月例会
8 月 26 日 (日)	旧長崎県立高城台小学校 現川分校	トイドローン体験会
9 月 9 日 (日)	長崎県出島交流会館	9 月度月例会
9 月 18 日 (火)	長崎 FM シティラジオ	塾 P R ラジオ収録
9 月 23 日 (日)	長崎市民会館	ドローン講習会 (座学)
9 月 24 日 (月)	長崎市伊王島体育館	ドローン講習会 (実技)
10 月 12 日 (金)	長崎県出島交流会館	10 月度月例会
10 月 21 日 (日)	長崎県庁	N P O 協働フォーラム ブース出展
11 月 18 日 (日)	長崎県出島交流会館	11 月度月例会
11 月 23 日 (金)	佐賀県伊万里市	視察研修会
12 月 21 日 (金)	長崎県出島交流会館	12 月度月例会
12 月 23 日 (日)	長崎市民会館	トイドローン クリスマスイベント
平成 31 年		
1 月 21 日 (月)	長崎県出島交流会館	1 月度月例会
2 月 17 日 (日)	長崎県出島交流会館	2 月度月例会
3 月 17 日 (日)	長崎県出島交流会館	3 月度月例会
3 月 21 日 (木・祝)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 調査内容パネルの展示、クイズの実施など

一年間の記録

ネットワーク型高島地域創造塾交流会及び ドローン飛行会

～平成 30 年 7 月 15 日（日）～

開催趣旨

他塾との交流を深めるとともに、ドローン初心者の方々にドローンに対する理解を深めてもらうため開催。この時、塾として初めて公園の使用許可を得る。

参加者

塾生 男性 13 名 女性 4 名

行政 5 名

高島地域創生塾 3 名

塾長より

塾のイベントとしては初めての開催。天候に恵まれて、若干暑い中での開催でした。最初、高島運動公園でドローンの説明を行い、何人かにわけて実習を行いました。皆さん、おっかなびっくりでドローンを扱っておりましたが次第に慣れ、操作もスムーズになってきました。このイベントを通し、ドローンに対する理解が深まった塾生も多々いたとおもいます。

その後、場所を移動してネットワーク型高島創造塾さんとの交流会（バーベキュー）を開催しました。

塾活動を行ううえで大切なことは、活動の中にコミュニケーションの場を入れることだと感じています。実際、自分自身も活動の中で塾生の方が自分と会話をしたいのに、自分が忙しいため、中々一人ひとりとゆっくり話ができませんでした。これは一年間を通して常に感じていたことです。この交流会については、その点いろいろな方と話しができ、最初にしては大成功だったと思います。



トイドローン体験会

～平成 30 年 8 月 26 日（日）～

開催趣旨

長崎市民にドローンを知ってもらおう。また廃校になった教室を利用したの実証実験。福祉施設等での活用方法を研究するため夏休みを利用し、小学生以下の児童及び保護者を対象に一般から募集を行い開催。アンケート調査も実施。

開催場所

旧長崎市立高城台小学校現川分校
(通称森の分校)

参加者

塾生 男性 7 名 女性 4 名
一般 保護者 6 名 児童 5 名 計 22 名

塾長より

一般市民を対象とした初めての「トイドローン体験会」。福祉施設や高齢者施設等でトイドローンを活用するという塾活動の目的がありましたが、これまで全国的に活用した事例がないため開催しました。

チラシを作成し、自治会の皆様にご協力頂き、参加者を募りました。トイドローンを展示し、実際に見てもらったあと、ドローンの説明を行い飛行。天井が低いため一定の高さまでしか飛行出来ませんでした。皆さんに楽しんで頂けました。小学生を対象としていましたが、飛行機が好きな高校生や、保護者の方がトイドローンにハマっていました。

この体験会で得た事を次年度の活動に取り入れていきたいと考えております。体験会終了後に保護者の方からお手紙を頂き、塾生の皆さんも喜んでいました。



ドローン講習会

～平成 30 年 9 月 23 日(日)24 日(月・振)～

開催趣旨

マナーや法令等及び技術を学ぶため外部から講師を招いて 2 日間に分けて開催。ドローンの普及をはかるため一般から募集を行い開催。

開催場所

23 日(日) 長崎市民会館視聴覚室

24 日(月) 伊王島体育館

参加者

23 日(日) 塾生 男性 14 名 女性 3 名

一般 6 名 講師 4 名

24 日(月) 塾生 男性 16 名 女性 4 名

一般 3 名 講師 4 名

塾長より

外部よりプロの講師を招いての本格的な講習会。1 日目は法令やマナーを学ぶ座学講習会。JUIDA(国交省認定団体)講師でもある宇佐美さんを中心に講習会を行いました。

予定では講師を宇佐美さんをお願いしていましたが、宇佐美さんが 3 名の講師陣を招聘してくださり、中身の濃い講習会となりました。

資料だけでも 50 ページ。今まで知らなかった事も多々ありました。その後の懇親会では個別に講師に質問を行ったりと、和やかな意見交換の場になりました。

2 日目は伊王島体育館。ドローンの点検方法や操作技術、空撮テクニックを学び最後に修了証書の授与で終わりました。この二日間、非常に多くのことを学びました。講師の皆さん、スタッフの皆さん、大変お疲れさまでした。この講習会の模様は、報道各社さんも大々的に取り上げて頂き、ドローン普及に一定の成果があったと思います。



長崎県庁ブース出展

～平成 30 年 10 月 21 日（日）～

開催趣旨

県主催の「つながるフェスタ」に、ブースを出展し、ドローンの普及及び理解度を深める。

開催場所

長崎県庁 2 階エントランスホール

参加者

塾生 男性 14 名 女性 3 名

塾長より

長崎県県民協働課よりお話を頂き、急遽開催いたしました。

ドローンの展示・体験コーナー・ドローン・トイドローンのデモフライト・法令やマナーのパネルの展示、12 月に開催予定のドローンクリスマス PR を行いました。

長崎県・県港湾管理者等関係部署から許可を頂き、2 回に分けて長崎県庁上空でドローンを飛行させました。（この画像については、成果品であるドローンハンドブックの表紙にも使われております。）

トイドローンのデモフライトでは、来場者の皆さんが足を止めて見て頂いたり、パソコンを使ったフライトシュミレーションも大好評でした。

いろいろなドローンを展示していたので、多くの方がゆっくりご覧になっていたりと普及広報については成果があったと思います。

次年度についても、ブースを出展しドローンの普及広報を行う予定となっているため、この経験が次年度大いに役立つと感じています。



視察研修 in 伊万里

～平成 30 年 11 月 23 日（金）～

開催趣旨

ドローンを活用したまちづくりの先進地である佐賀県伊万里市を訪問。廃校になった体育館の活用や商店街活性化のためのドローンの座学講習会を視察し長崎市での活用を模索するため実施。

開催場所

佐賀県伊万里市（貸し切りバスにて移動）

参加者

塾生 男性 14 名 女性 4 名

塾長より

当日朝 8：30 長崎駅前集合。伊万里到着時間が昼食時間と重なるため、先に昼食を済ませて廃校になった旧伊万里市立波多津小学校を訪問。実技教育を受けられている様子などを見学し、現地の講師より説明を受けました。

廃校になった体育館を活用するに至った経緯や、どのように維持しているかを含めて大変勉強になりました。

その後、座学会場である伊万里市中心部へ移動し、シャッター街であったアーケードをどう活用していったかなどのお話を聞きし、長崎でどう活用できるか皆さんで話しました。

座学会場では普段見ることのできない農薬散布用のドローンも見ることができ、貴重な視察研修となりました。



ドローンクリスマス

～平成 30 年 12 月 23 日（日）～

開催趣旨

ドローンの普及活動を行う事を目的とし、
トイドローンのイベント実施。

開催場所

長崎市民会館 体育室

参加者

塾生 男性 10 名 女性 4 名

塾長より

ドローンの普及広報活動の一環で、市民に親しんでいただこうと開催。

チラシを作成し、長崎市の広報誌「広報ながさき」へ記載して頂いたり、長崎新聞のイベント欄にも載せて頂き募集を行いました。

プログラミング・ドローンキャッチャー・タイムアタックの3つのイベントを企画し、参加者の皆さんには大いに楽しんで頂けたと思います。準備の段階で塾長が緊急入院するなどのアクシデントもありましたが、塾生の皆さんのおかげで成功する事ができました。

タイムトライアルについては、自分も含め塾生の皆さんも挑戦してみましたが、難しかったというのが印象に残りました。

クリスマスの雰囲気を出そうと塾生の方がサンタに扮したり、また参加者の皆さんにはサンタ帽を差し上げたりしましたが、クリスマスの雰囲気が出たかどうかはご想像にお任せいたします。当日の景品については塾生の皆さんが持ち寄り協力して頂きました。



■ 塾生の感想 ■

ドローンの認知度を高め、ドローンを使い長崎市の発展に貢献できる活動を行っていくということで始めましたが、ドローンの飛行規制が厳しくなかなか思うような活動が出来ないのが現状だと思いました。

五島や諫早ではすでにドローンを使って取り組みを行っていますが、ここ長崎市では前例がないという理由で、使用許可を得られずドローンの活躍が期待できません。伝習塾の活動を通してドローン活動の前例を作り、長崎市の魅力のアピールに貢献できる活動を行う事が今後の課題かと思っています。

(副塾長：上田 晶)

男性の多い中に女性も助けてもらって、新しい分野に参加出来て楽しかった！

シニアの方達、脳トレと仲間作りにお出掛けされませんか？ (中島るり子)

本塾に入りドローンを通し新たな人々と出会い及びいろんな体験をさせて頂き感謝しています。また、塾長始め塾生の皆さまと楽しく面白いドローンの世界を通して市民の方々に知って頂けたかな！？とっております。まだまだ普及の認知度は程遠い感じですが、コツコツと地道に本活動を推進して行きます。(三原利夫)

自身の業務(教会のステンドグラス修復、調査の為の高所撮影など)に活用できる事を目指して入塾しましたが、中々時間の調整が出来ず、出席率が悪い結果となってしまいました。自身の成果?は伊王島体育館に於ける講習会のみでしたが、出来れば次回もチャレンジしたいと思っております。(竹田克人)

近年、『ドローン』という言葉をよく耳にします。その活用については、空撮、災害時の捜索や救助、橋梁の点検、農薬散布、測量、医療用品の輸送、宅配など幅広い分野で活用され、また、活用が期待されています。

しかし、一体どのような仕組みで、ドローンが飛んでいるのか、免許が必要なのか、法的な規制はどうなっているのか、全く知識がありませんでした。

そのような中、「ながさきドローン塾」の開講を知り参加しました。

塾生には、既に趣味でドローンを使って空撮している方、私のように全くの素人の方がおり、平塚塾長が様々なレベルの塾生をまとめていくのはとても大変だったと思います。

一年を通じて、色々な事を学ばせて頂きました。ドローンには、手のひらサイズのトイドローンから、数メートルの大きな業務用ドローンまで様々な種類のドローンがあること。ドローンの操縦技術の認定は、「民間の資格」で、「国家資格」ではないこと。ドローンを飛行させるにあたっては、様々な法律の規制があること。そして、最も大切な事は、ドローンは必ず落ちるものであることを忘れないことです。

実地練習の面では、伊万里市の廃校になった小学校の体育館を利用させて頂き、飛行練習を行いました。廃校の活用は、伊万里市におけるドローン操縦者の育成に大きく貢献していました。長崎市においても、今後ドローンの活用を行おうとする人たちにとって、操縦技術の練習場の確保が必要になってくると思われます。未知なる可能性を秘めたドローンに今後も何らかの形で関わっていきたいと思います。(北嶋 寛)

ながさきドローン塾

塾長	平塚 健一郎				
1	秋山 賢一郎	21	山口 繁広	41	
2	井手 哲	22	山口 美由紀	42	
3	井上 馨	23	山本 宗男	43	
4	上田 晶	24	吉岡 正広	44	
5	北島 寛	25		45	
6	黒田 拓史	26		46	
7	小金丸 大	27		47	
8	小牧 哲朗	28		48	
9	下平 洋二	29		49	
10	竹田 克人	30		50	
11	中島 るり子	31		51	
12	平塚 智美	32		52	
13	本田 弘	33		53	
14	増倉 康久	34		54	
15	道田 真二	35		55	
16	道田 玲子	36		56	
17	三原 利夫	37		57	
18	森 達也	38		58	
19	森 晴美	39		59	
20	山口 克己	40		事務局員	市民協働推進室 島崎 愛良